

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

| | | | | | |
|----------------|--|--|--|-------|---------|
| 専門分野区分 | 情報リテラシー | 科 目 名 | ビジネスアプリケーションⅡ | 科目コード | T0020C1 |
| 配 当 期 | 前期・ 後期 ・通年 | 授業実施形態 | 通常 ・集中 | 単 位 数 | 1 単位 |
| 担当教員名 | 岸田 由紀子 | 履修グループ | 1F(MP/SP) | 授業方法 | 演習 |
| 実務経験の内容 | システムエンジニアとして様々な設計資料の作成を経験したのち、非常勤講師としてITリテラシーの講師を担当。フリーランスとして中小企業向けコンサルティング、並びに業務システム開発に従事。企業内でEUCとして使えるデータベース技術の講習を企業講習で行う。本講座ではそのノウハウを講義する。 | | | | |
| 学習一般目標 | ビックデータ時代を迎え、様々な意思決定を行う上でデータに基づき合理的に判断することがますます重要になっています。本授業では、データを扱うデータベースソフトウェアとして比較的易しい Access を用いて学習者がデータを扱うための基本的な考え方、その操作を学ぶことを目標とする。 | | | | |
| 授業の概要および学習上の助言 | ビジネスシーンで重要なソースとなるデータベースについてしっかりと理解したうえで自由自在にデータを検索、クエリを使ってSQLの仕組みができるようになる。また、新規テーブルを作成し、リレーションシップの設定ができる。フォームやレポートを活用するための基礎能力を得る事ができる。この授業を機会にMOSのACCESS試験にも挑戦して欲しい。 | | | | |
| 教科書および参考書 | 教科書：よくわかる Microsoft Access 2016 基礎 | | | | |
| 履修に必要な予備知識や技能 | 前期のビジネスアプリケーションⅠの基礎知識を習得していることが望ましい。リレーショナル型データベース (RDB) やSQLの基礎知識があればなお良い。 | | | | |
| 使用機器 | PC実習室 | | | | |
| 使用ソフト | Access 2016 | | | | |
| 学習到達目標 | 学部DP(番号表記) | 学生が達成すべき行動目標 | | | |
| | 1 | Accessの基礎知識を修得し、Accessの特徴を説明することができる。 | | | |
| | 4 | Accessの基本操作(テーブル、フォーム、クエリ、レポートの作成)を行うことができる。 | | | |
| | 4 | リレーションシップを設定することによって、リレーショナル型データベース(RDB)の機能について理解することができる。 | | | |
| | 4 | クエリを作成することによって、SQLの文法を理解することができる。 | | | |
| | 5 | ビジネスアプリケーションⅡの実習に意欲をもって取り組むことができる。 | | | |

| | | | | | | | | | | |
|---------|-----------------|---|-------------|------|-----------------|----|-------------|-----|-----|----|
| 達成度評価 | 評価方法 | 試験 | クイズ 小テスト | レポート | 成果発表 (口頭・実技) | 作品 | ポート フォリオ | その他 | 合計 | |
| | 総合評価割合 | | | 90 | | | | | 100 | |
| | 学部 D P | 1.知識・理解 | | | 60 | | | | | 60 |
| | | 2.思考・判断 | | | | | | | | |
| | | 3.態度 | | | | | | | | |
| | | 4.技能・表現 | | | 30 | | | | | 30 |
| 5.関心・意欲 | | | | | | | | 10 | 10 | |
| 評価の要点 | 評価方法 | 評価の実施方法と注意点 | | | | | | | | |
| | 試験 | | | | | | | | | |
| | クイズ 小テスト | | | | | | | | | |
| | レポート | 授業で行った課題をしっかりと提出する。 | | | | | | | | |
| | 成果発表 (口頭・実技) | | | | | | | | | |
| | 作品 | | | | | | | | | |
| | ポートフォリオ | | | | | | | | | |
| | その他 | 実習に取り組む意欲・姿勢を測るため、課される課題への取り組みと出席状況全般を評価する。 | | | | | | | | |

授業明細表

| 回数 日付 | 学習内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) |
|----------|---|---------|-------------|
| 第1回 | ※シラバスの説明 第1章 Access の基礎知識 第2章 データベースの設計と作成 | 講義・実習 | |
| 第2回 | 第3章 テーブルによるデータの格納① STEP1～STEP3 | 講義・実習 | |
| 第3回 | 第3章 テーブルによるデータの格納② STEP4～STEP5 <演習> 総合問題1：1. テーブルの作成 | 講義・実習 | |
| 第4回 | 第5章 クエリによるデータの加工 <演習問題>Let's Try(| 講義・実習 | |
| 第5回 | 第7章 クエリによるデータの抽出と集計 | 講義・実習 | |
| 第6回 | <演習> 総合問題1：2. クエリの作成(| 講義・実習 | |
| 第7回 | 第6章 フォームによるデータの入力① STEP1～STEP4 | 講義・実習 | |
| 第8回 | 第6章 フォームによるデータの入力② STEP5～STEP6 <演習> 総合問題1：3. フォームの作成 | 講義・実習 | |
| 第9回 | 第8章 レポートによるデータの印刷① STEP1～STEP3 | 講義・実習 | |
| 第10回 | 第8章 レポートによるデータの印刷② STEP4～STEP7 <演習> 総合問題1：4. レポートの作成 | 講義・実習 | |
| 第11回 | 第9章 便利な機能 | 講義・実習 | |
| 第12回 | ※Access 応用(アクションクエリー) ※プリント参照 (アクションクエリー) | 講義・実習 | |
| 第13回 | <演習> 総合問題2 | 実習 | |
| 第14回 | <演習> 総合問題2継続 | 実習 | |